
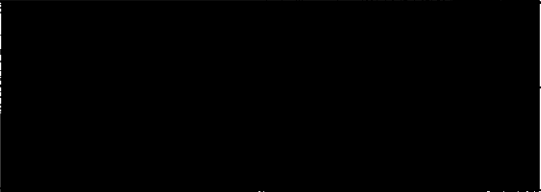




注意事項		公印使用承認印	施行日等
起案日	令和2年8月13日		
供覧日			
文書番号	2国芸祭第13号		
施行方法		施行文書確認済 <input type="checkbox"/>	システム入力済 <input type="checkbox"/>
備考	起案者氏名 		
題名 あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議開催に代わる書面表決について			文書種別 依頼
事務局長	事務局長次長 (室長)		
			
保存期間	5年	標準ファイル名	
伺い文			
<p>下記議案の書面表決について、各委員あて別紙案により依頼してよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>第1号議案 2019年度事業報告について</p> <p>第2号議案 2019年度収支決算について</p> <p>第3号議案 2020年度収支予算の補正について</p> <p>第4号議案 あいちトリエンナーレ実行委員会の事業執行等について</p>			

2国芸祭第13号

令和2年8月 日

あいちトリエンナーレ実行委員会<<区分>>

<<職名>> <<氏名>> 様

※別記

あいちトリエンナーレ実行委員会

会長 大村 秀章

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議開催に代わる書面表決
について (依頼)

残暑の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、あいちトリエンナーレ実行委員会の運営につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、別添の議案につきまして、本来でしたら、運営会議において御審議をいただくべきところでございますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実行委員会規約第13条第8項の規定に基づく書面による御表決をお願いしたいと存じます。

つきましては、御多忙のところ恐縮でございますが、別添の議案についての賛否を表決書により、令和2年8月27日(木)までに御回答いただきますようお願いいたします。

[連絡先]

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

(愛知県県民文化局文化部文化芸術課トリエンナーレ推進室内)

電 話 052-971-6111

FAX 052-971-6115

(別記)

区分	職名	氏名
会長	愛知県知事	大村秀章
会長代行	名古屋市長	河村たかし
副会長	名古屋商工会議所会頭	山本 亜土
副会長	一般社団法人 中部経済連合会会長	水野 明久
委員	名古屋商工会議所専務理事	内田 吉彦
委員	一般社団法人 中部経済連合会専務理事	小川 正樹
委員	中日新聞社代表取締役社長	大島 宇一郎
委員	日本放送協会名古屋放送局長	田 辺 雅 泰
委員	独立行政法人 国際交流基金理事	柄 博 子
委員	愛知県立芸術大学学長	戸 山 俊 樹
委員	愛知芸術文化センター総長	神 田 真 秋
委員	愛知県県民文化局長	水 野 直 樹
委員	名古屋市観光文化交流局長	松 雄 俊 憲
委員	公益財団法人 愛知県文化振興事業団理事長	菅 沼 綾 子
委員	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団理事長	杉 山 勝
委員	多摩美術大学学長	建 畠 哲
委員	東北大学大学院教授	五十嵐 太郎
委員	多摩美術大学教授	港 千 尋
委員	京都市立芸術大学教授	加 須 屋 明 子
委員	国立国際美術館研究員	中 井 康 之
委員	名古屋市立大学教授	水 野 み か 子
委員	山口大学教授	藤 川 哲
委員	南山大学教授	川 北 眞 紀 子
委員	紫牟田伸子事務所	紫 牟 田 伸 子

表 決 書

あいちトリエンナーレ実行委員会 御中

次のとおり書面をもって表決します。

議案について賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取扱いください。

(賛成・反対のいずれかに○を付してください。)

第1号議案	2019年度事業報告について	賛成	反対
第2号議案	2019年度収支決算について	賛成	反対
第3号議案	2020年度収支予算の補正について	賛成	反対
第4号議案	あいちトリエンナーレ実行委員会の事業執行等について	賛成	反対

令和2年 月 日

御芳名

印

第1号議案

2019年度事業報告について

2019年度あいちトリエンナーレ実行委員会の事業報告について、次のとおりとする。

2020年8月17日提出

あいちトリエンナーレ実行委員会

会長 大村 秀章

(説明)

この案を提出するのは、2019年度の事業報告をあいちトリエンナーレ実行委員会規約第13条第2項第2号に基づき、運営会議において議決する必要があるからである。

2019 年度事業報告書

あいちトリエンナーレ実行委員会

2019年度 事業報告書

あいちトリエンナーレは、この地域の文化芸術を活発化させ、経済面のみならず文化芸術面でも日本や世界に貢献し、国際社会から真に尊敬される魅力的な地域づくりを目指していくため、地元の自治体、経済界、報道機関、学識経験者等による実行委員会を組織し、2010年度に初回を開催した。

4回目となる2019年度は、「情の時代 Taming Y/Our Passion」をテーマに、最先端の現代美術やパフォーマンスアーツのほか、ロックやポップスなどのポピュラーミュージックを新たなプログラムに加え、国内外93組の参加アーティストによる様々なプログラムを実施した。

1 あいちトリエンナーレ2019開催概要

(各事業の詳細については、別冊「あいちトリエンナーレ2019開催報告書」のとおり)

名 称	あいちトリエンナーレ2019/ Aichi Triennale 2019		
テ ー マ	情の時代 Taming Y/Our Passion		
開 催 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献する。 ・現代芸術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図る。 ・文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図る。 		
芸 術 監 督	津田 大介 氏 (ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)		
会 期	2019年8月1日(木)～10月14日(月・祝) [75日間]		
会 場	<ul style="list-style-type: none"> ■名古屋地区 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知芸術文化センター ・名古屋市美術館 ・名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺) ■豊田地区 <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市美術館及び豊田市駅周辺 		
最終来場者数	675,939人	経済波及効果	約87.1億円

(1) 現代美術

国際現代美術展	<ul style="list-style-type: none">・国内外の 66 組のアーティスト・団体の新作を含む作品を展示し、最先端の現代美術を紹介した。・愛知県美術館を含む愛知芸術文化センターを中心に、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか（四間道・円頓寺）、豊田市（豊田市美術館及び豊田市駅周辺）での作品展示など、広域に展開した。
映像プログラム	<ul style="list-style-type: none">・国内外のアーティスト・団体 14 組による映画作品 15 本（日本初上映作品 3 本、新作 1 本を含む）を、9 月 15 日～29 日にかけて、愛知芸術文化センター アートスペースAにて上映した。上映期間中、映画監督や作品に関連するゲストを招き、トークイベントを実施し、作品の魅力などを伝えた。また、10 月 8、9 日にはシネマスコーレでも上映した。・アートスペースAでの上映期間に先行して、8 月 9 日にミッドランドスクエアシネマを会場として特別オールナイト上映を開催した。特別に選定された現代アメリカ映画作品 3 本のほか、日本初上映作品 2 本を先行して上映した。

(2) 舞台芸術

パフォーミングアーツ	<ul style="list-style-type: none">・国内外の先鋭的な演劇などの作品を、愛知県芸術劇場を中心に名古屋市内及び豊田市内で 14 演目上演した。日本初演の海外作品、国内新作のほか、「エクステンション企画」と題し、国際現代美術展の参加アーティストによるレクチャー形式のパフォーマンスや参加型プロジェクトなどを実施した。・複数演目を集中的に上演するパフォーミングアーツ・フォーカス期間（8 月 2 日～4 日、9 月 5 日～8 日、10 月 11 日～14 日）を設定し、国内外から集まった演者と観客、美術と演劇、劇場と都市空間を横断するプログラムを複合的に展開した。
音楽プログラム	<ul style="list-style-type: none">・ロックやポップスなどのポピュラーミュージックを新たなプログラムとして加え、5 企画のライブパフォーマンスなどを通し、その魅力を伝えた（6 企画を用意したが、うち『なごの音楽祭』は台風 19 号の影響により中止）。・愛知芸術文化センターでは、愛知県芸術劇場大ホールで 2 組の公演を開催したほか、複合的なフェスイベント『あいちトリエンナーレ 2019 MUSIC & ARTS FESTIVAL』を 9 月 14 日に開催した。・四間道・円頓寺では、日替わりで様々なアーティストが演奏する『円頓寺デイリーライブ』などを展開した。

(3) ラーニング

「受けとめる、深める、形にする、オーナーシップ」をキーワードに、来場者の相互的学びの場を目指した活動を展開した。

<p>アート・プレイグラウンド</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者の鑑賞体験をより豊かにできるような環境づくりとして、5つの拠点にて「アート・プレイグラウンド」を展開した。 ・会場ごとに、それぞれ「あそぶ」、「はなす」、「つくる」、「もてなす」、「しらせる」とテーマを設け、来場者が創造性を発揮したくなるようなプログラムを用意した。 <table border="1" data-bbox="443 591 1458 1084"> <tr> <td data-bbox="443 591 603 685">あそぶ</td> <td data-bbox="603 591 1458 685">ダンボールの公園で遊べるほか、作り変えるなどの創作も行える場（愛知芸術文化センター）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 685 603 786">はなす</td> <td data-bbox="603 685 1458 786">作品鑑賞後、感想を共有したり意見交換したりする場（愛知芸術文化センター）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 786 603 887">つくる</td> <td data-bbox="603 786 1458 887">会場内にある素材や道具、技術を組み合わせ工夫しながら作品を作り出す場（名古屋市美術館）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 887 603 987">もてなす</td> <td data-bbox="603 887 1458 987">四間道・円頓寺の商店街や地域の方々や来場者と、まちの名物を考え商品化を目指す場（四間道・円頓寺なごのステーション）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 987 603 1084">しらせる</td> <td data-bbox="603 987 1458 1084">ネットラジオや SNS、T シャツなど様々な媒体を通して自分の思いを発信することを体験する場（豊田市美術館）</td> </tr> </table>	あそぶ	ダンボールの公園で遊べるほか、作り変えるなどの創作も行える場（愛知芸術文化センター）	はなす	作品鑑賞後、感想を共有したり意見交換したりする場（愛知芸術文化センター）	つくる	会場内にある素材や道具、技術を組み合わせ工夫しながら作品を作り出す場（名古屋市美術館）	もてなす	四間道・円頓寺の商店街や地域の方々や来場者と、まちの名物を考え商品化を目指す場（四間道・円頓寺なごのステーション）	しらせる	ネットラジオや SNS、T シャツなど様々な媒体を通して自分の思いを発信することを体験する場（豊田市美術館）
あそぶ	ダンボールの公園で遊べるほか、作り変えるなどの創作も行える場（愛知芸術文化センター）										
はなす	作品鑑賞後、感想を共有したり意見交換したりする場（愛知芸術文化センター）										
つくる	会場内にある素材や道具、技術を組み合わせ工夫しながら作品を作り出す場（名古屋市美術館）										
もてなす	四間道・円頓寺の商店街や地域の方々や来場者と、まちの名物を考え商品化を目指す場（四間道・円頓寺なごのステーション）										
しらせる	ネットラジオや SNS、T シャツなど様々な媒体を通して自分の思いを発信することを体験する場（豊田市美術館）										
<p>ボランティアによるガイドツアー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般来場者を対象に、ガイドツアーボランティアが対話式の作品鑑賞ツアーを行った（2～3人体制、1回あたり 60 分程度）。 ・ボランティアに対しては、新たに対話型アート鑑賞のエッセンスを加えた研修を実施し、専門的知識がない来場者も十分楽しむことができる環境を整えた。 										
<p>鑑賞プログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アーティストが“先生”や“正解”としてその場にいるのではなく、新しい視点の提案者として一緒にツアーに参加するプログラムなどを実施した。 										
<p>学校向けプログラム</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校向け団体鑑賞プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・授業や校外学習など様々な学校行事を活用し、地域の児童・生徒に現代美術を楽しんでもらうため、ガイダンスや作品鑑賞ツアーなどを行った。 2 アーティスト派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールを素材として創作活動を行うアーティストが、県内の小学校5校で「特別授業」を実施し、児童とともにダンボールを使った作品制作を行った。 ・特別授業実施後、「あいちトリエンナーレ 2019」開幕までの間に、参加した生徒たちがアート・プレイグラウンド「あそぶ」の会場制作及び遊具制作を行った。 										

トリエンナーレ スクール	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャーとディスカッションを組み合わせた「トリエンナーレスクール」を3回開催するとともに、会期中は形態を変え、全6回にわたり「面白さってなに?」「分かるってなに?」といった異なるテーマについて対話を重ね、思考を深めていくプログラムを実施した。
-----------------	---

(4) 連携事業

モバイル・ トリエンナーレ	<ul style="list-style-type: none"> ・県内4ヶ所（設楽町、津島市、小牧市、東海市）の文化施設等において、「あいちトリエンナーレ 2019」参加アーティストのうち19組が、本展とは異なる作品を中心に計52点を会期中の4週間にわたり巡回展示した（入場無料）。
舞台芸術公募 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・企画公募により選考された15組の地元文化芸術団体などと共催で、音楽、舞踏、演劇などさまざまなジャンルの舞台公演を行った。
芸術大学連携 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいちトリエンナーレ 2019」の会期中において、3芸術大学（愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学）と連携し、人材育成プログラムを開催した。 ・各大学から推薦された3名（計9名）と一般公募で集まった7名の合計16名に対し、外部講師等を招き5日間の集中講義を行った後、展覧会を開催した。
芸術祭等 連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいちトリエンナーレ 2019」と同時期に開催されていた他の芸術祭等と連携して、相互に広報展開を図った。 <p>連携した芸術祭等（開催地）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 瀬戸内国際芸術祭 2019（香川県、岡山県） (2) Reborn-Art Festival 2019（宮城県） (3) 中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2019（岐阜県） (4) 森、道、市場 2019（愛知県）
連携企画事業	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県内において、「あいちトリエンナーレ 2019」と同時期に開催された事業のうち、トリエンナーレのテーマや企画等に関連付けて実施した14件を「連携企画事業」と位置づけ、相互に広報展開を図った。
パートナー シップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化芸術団体や民間企業、自治体などが行う文化芸術事業を「パートナーシップ事業」として募集し、相互に広報展開を行った。 ・2018年7月から2019年7月末までを募集期間とし、273件を決定した。

(5) 広報・PR

記者発表会、記者等への情報提供、取材への対応、広告用印刷物・PR動画の作成、Webサイトを用いた広報、関係機関と連携した広報、各種メディア広告等により、多くの新聞、テレビ等のメディアを通じて広く情報が発信された（掲載・放映が確認できた件数 14,133 件から、パブリシティ効果（広告費換算費）は約 200 億円と算出）。

(6) その他

ア 「表現の不自由展・その後」の一時展示中止及び再開に係る経緯

「あいちトリエンナーレ 2019」で 106 あった企画のうちの 1 企画である「表現の不自由展・その後」は、公立美術館等において、過去に何かしらの理由により展示ができなかった作品をその経緯とともに展示し、来場者に「表現の自由」について考えてもらうことを趣旨としていた。

しかしながら、開催当初から展示内容に関する激しい抗議が殺到し、中にはテロ予告もあったため、来場者の安全面を考慮して 8 月 4 日から展示を一時中止とした。

8 月 9 日、愛知県は第三者委員会として「あいちトリエンナーレのあり方検証委員会」（以下「検証委員会」という。）を設置し、関係団体の企画・準備体制、公金を使った芸術作品の展示、開催時の危機管理体制などについて、総合的な検証が行われた。

9 月 25 日、検証委員会の検証結果が発表され、「過去に禁止となった作品を手掛かりに『表現の自由』や世の中の息苦しさについて考えるという着眼は今回のあいちトリエンナーレの趣旨に沿ったものであり、妥当」、「脅迫や電凸等の安全対策を十分に講じることや展示方法やプログラムの改善・追加といった条件が整い次第、すみやかに再開すべき」との提案がなされた。

これを受け、10 月 8 日から、セキュリティ対策等に万全を期して、「表現の不自由展・その後」と共に中止となっていた 14 組の作家の展示を含め全面再開した。

イ 今後の実行委員会の運営体制

愛知県が設置した検証委員会は、その後、「あいちトリエンナーレのあり方検討委員会」（以下「検討委員会」という。）に名称変更し、引き続き、今後の「あいちトリエンナーレ」の運営体制に係る検討が行われた。

12 月 18 日、検討委員会から今後の運営体制に係る提言がなされ、現状の体制では「会長が政治家であるため、展示内容に関して意見を提示すると憲法 21 条の表現の自由及び検閲の禁止の規定に抵触しかねない」といった問題点が整理された。また、2020 年度早期において、これまでの実行委員会を踏襲しつつ、確実なマネジメントとガバナンスを確保するため、①実行委員会会長の民間からの登用、②アーツカウンシル的組織の設置、③芸術監督の権限の見直し、④実行委員会運営会議の見直し、⑤トリエンナーレ支援組織の設置といった方策により、新しい運営体制を構築すべきとされた。

次回以降の開催に向けては、検討委員会の提言等を踏まえ、愛知県が設置する「あいちトリエンナーレ準備協議会」において、新しい運営体制を検討していく。

2 実行委員会運営会議等

開催日	行事名	場所	内容
2019年 4月26日(金)	参 会	与 議 愛知芸術 文化センター	「あいちトリエンナーレ2019」の進捗状況 について
7月8日(月)	運 会	営 議 書 面	2018年度事業報告及び収支決算について
12月26日(木)	運 会	営 議 愛知芸術 文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいちトリエンナーレ2019」開催結果 概要 ・あいちトリエンナーレのあり方検討委員 会からの提言
2020年 3月23日(月)	運 会	営 議 書 面	2020年度事業計画及び収支予算について

第2号議案

2019年度収支決算について

2019年度あいちトリエンナーレ実行委員会の収支決算について、次のとおりとする。

2020年8月17日提出

あいちトリエンナーレ実行委員会

会長 大村 秀章

(説明)

この案を提出するのは、2019年度の収支決算をあいちトリエンナーレ実行委員会規約第13条第2項第2号に基づき、運営会議において議決する必要があるからである。

2019 年度財務諸表

あいちトリエンナーレ実行委員会

収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

あいちトリエンナーレ実行委員会
一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
事業収入	196,000,000	271,056,541	△ 75,056,541	
国際現代美術展収入	125,151,000	174,235,378	△ 49,084,378	
舞台芸術入場券収入	70,213,000	96,680,690	△ 26,467,690	
諸収入	636,000	140,473	495,527	カタログ・グッズ販売料、託児料等
協賛金収入	5,000,000	4,750,000	250,000	広告掲載料
補助金等収入	52,055,000	2,293,170	49,761,830	
民間助成金収入	52,055,000	2,293,170	49,761,830	
寄付金収入	11,945,000	86,872,815	△ 74,927,815	
負担金収入	823,246,000	682,788,211	140,457,789	愛知県負担金及び名古屋市負担金
雑収入	1,000	39,794	△ 38,794	
受取利息収入	1,000	2,724	△ 1,724	預金利息
雑収入	0	37,070	△ 37,070	
事業活動収入計	1,088,247,000	1,047,800,531	40,446,469	
2. 事業活動支出				
事業費支出	1,079,478,600	1,029,243,526	50,235,074	
臨時雇賃金支出	15,000,000	8,834,330	6,165,670	事業費補助臨時雇用職員賃金
会議費支出	400,000	323,379	76,621	舞台等会議費
旅費交通費支出	30,000,000	28,878,783	1,121,217	芸術監督、職員等旅費
通信運搬費支出	12,500,000	11,670,413	829,587	通信費、郵送料等
消耗品費支出	10,000,000	9,149,601	850,399	開催準備消耗品等
修繕費支出	1,500,000	1,082,319	417,681	備品修繕費
印刷製本費支出	20,000,000	18,949,173	1,050,827	チラシ・ポスター印刷費等
燃料費支出	150,000	62,338	87,662	ガソリン代
光熱水料費支出	1,800,000	1,534,443	265,557	会場電気使用料等
賃借料支出	75,000,000	71,734,511	3,265,489	会場使用料等
保険料支出	400,000	337,390	62,610	イベント保険料等
諸謝金支出	15,000,000	14,114,515	885,485	芸術監督謝金等
租税公課支出	4,000,000	2,754,900	1,245,100	法人税、収入印紙
負担金支出	4,000,000	3,738,356	261,644	出展料等
委託費支出	881,728,600	848,446,151	33,282,449	キュレーター、作品制作委託費等
雑支出	8,000,000	7,632,924	367,076	寄付金受取手数料等
管理費支出	4,256,000	3,892,605	363,395	
役員報酬支出	130,000	129,500	500	運営会議委員等報酬
福利厚生費支出	100,000	94,069	5,931	労働保険料
旅費交通費支出	50,000	40,020	9,980	運営会議委員等旅費
通信運搬費支出	500,000	473,070	26,930	通信費、郵送料等
消耗品費支出	80,000	50,016	29,984	事務用消耗品等
光熱水料費支出	10,000	50	9,950	運営会議会場電気代
賃借料支出	600,000	578,704	21,296	パソコン等賃借料
諸謝金支出	816,000	816,000	0	会計顧問料
租税公課支出	100,000	71,000	29,000	法人税等
負担金支出	30,000	20,000	10,000	参加費
雑支出	1,840,000	1,620,176	219,824	振込手数料等
事業活動支出計	1,083,734,600	1,033,136,131	50,598,469	
事業活動収支差額	4,512,400	14,664,400	△ 10,152,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
固定資産取得支出	4,512,400	4,512,400	0	
建物附属設備取得支出	0	0	0	
什器備品購入支出	4,512,400	4,512,400	0	
投資活動支出計	4,512,400	4,512,400	0	
投資活動収支差額	△ 4,512,400	△ 4,512,400	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	10,152,000	△ 10,152,000	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	10,152,000	△ 10,152,000	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前受金、預り金及び未払法人税等を含んでいる。

なお、前期末及び当期末残高は下記2のとおり。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位 円)

	前期末残高	当期末残高
現金預金	50,394,722	268,433,106
未収金	87,499	34,004,010
合計(A)	50,482,221	302,437,116
未払金	50,146,367	289,226,933
前受金	122,900	0
預り金	144,454	1,025,483
未払法人税等	68,500	2,032,700
合計(B)	50,482,221	292,285,116
次期繰越収支差額 (A-B)	0	10,152,000

正味財産増減計算書

あいちトリエンナーレ実行委員会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	271,056,541	0	271,056,541
広告協賛金	4,750,000	0	4,750,000
受取助成金	2,293,170	0	2,293,170
受取負担金	682,788,211	126,527,748	556,260,463
受取寄附金	86,872,815	0	86,872,815
雑収益	39,794	158	39,636
受取利息	2,724	158	2,566
雑収益	37,070	0	37,070
経常収益計	1,047,800,531	126,527,906	921,272,625
(2) 経常費用			
事業費	1,029,784,208	122,262,995	907,521,213
臨時雇賃金	8,834,330	2,235,885	6,598,445
会議費	323,379	76,000	247,379
旅費交通費	28,878,783	11,908,764	16,970,019
通信運搬費	11,670,413	1,651,234	10,019,179
減価償却費	3,464,431	1,476,268	1,988,163
繰延資産償却費	356,400	356,400	0
消耗品費	9,149,601	1,410,186	7,739,415
修繕費	1,082,319	0	1,082,319
印刷製本費	18,230,368	5,895,125	12,335,243
燃料費	62,338	14,952	47,386
光熱水料費	1,534,443	415,556	1,118,887
賃借料	71,734,511	1,443,904	70,290,607
保険料	337,390	134,830	202,560
諸謝金	14,114,515	7,428,600	6,685,915
租税公課	2,754,900	22,000	2,732,900
支払負担金	3,738,356	105,077	3,633,279
委託費	845,884,807	87,597,668	758,287,139
雑費	7,632,924	90,546	7,542,378
管理費	3,892,605	3,220,601	672,004
役員報酬	129,500	203,500	△ 74,000
福利厚生費	94,069	37,541	56,528
会議費	0	18,597	△ 18,597
旅費交通費	40,020	148,300	△ 108,280
通信運搬費	473,070	158,772	314,298
消耗品費	50,016	1,025,367	△ 975,351
光熱水料費	50	50	0
賃借料	578,704	501,970	76,734
諸謝金	816,000	486,000	330,000
租税公課	71,000	68,500	2,500
支払負担金	20,000	0	20,000
委託費	0	243,540	△ 243,540
雑費	1,620,176	328,464	1,291,712
経常費用計	1,033,676,813	125,483,596	908,193,217
当期経常増減額	14,123,718	1,044,310	13,079,408
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	14,123,718	1,044,309	13,079,409
一般正味財産期首残高	8,555,928	7,511,619	1,044,309
一般正味財産期末残高	22,679,646	8,555,928	14,123,718
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	22,679,646	8,555,928	14,123,718

貸借対照表

2020年3月31日現在

あいちトリエンナーレ実行委員会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	268,433,106	50,394,722	218,038,384
未収金	34,004,010	87,499	33,916,511
棚卸資産	7,525,766	4,245,617	3,280,149
流動資産合計	309,962,882	54,727,838	255,235,044
2. 固定資産			
建物付属設備	438,875	490,857	△ 51,982
什器備品	4,401,905	3,301,954	1,099,951
繰延資産	161,100	517,500	△ 356,400
固定資産合計	5,001,880	4,310,311	691,569
資産合計	314,964,762	59,038,149	255,926,613
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	289,226,933	50,146,367	239,080,566
前受金	0	122,900	△ 122,900
預り金	1,025,483	144,454	881,029
未払法人税等	2,032,700	68,500	1,964,200
流動負債合計	292,285,116	50,482,221	241,802,895
負債合計	292,285,116	50,482,221	241,802,895
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	22,679,646	8,555,928	14,123,718
正味財産合計	22,679,646	8,555,928	14,123,718
負債及び正味財産合計	314,964,762	59,038,149	255,926,613

財産目録

2020年3月31日現在

あいちトリエンナーレ実行委員会
一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
普通預金 三菱UFJ銀行	268,433,106	
未収金 名古屋市負担金	33,802,000	
光熱水道費負担分等	202,010	
棚卸資産 書籍他	7,525,766	
流動資産合計		309,962,882
2. 固定資産		
その他固定資産		
建物付属品設備 建物改修等	438,875	
什器備品 P R映像等	4,401,905	
繰延資産	161,100	
固定資産合計		5,001,880
資産合計		314,964,762
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	289,226,933	
愛知県及び名古屋市負担金	88,991,546	
その他	200,235,387	
預り金 源泉所得税預り金等	1,025,483	
未払法人税等	2,032,700	
流動負債合計		292,285,116
負債合計		292,285,116
正味財産		22,679,646

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は最終仕入原価法による。

最終仕入原価法による評価額が販売定価を上回る場合は低価法による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却方法は定率法による。

(3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リースのうち重要性の乏しいものは通常の賃貸借に準じて処理をしている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等に係る会計処理は税込方式を採用している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,609,786	2,170,911	438,875
什器備品	14,386,880	9,984,975	4,401,905
合 計	16,996,666	12,155,886	4,840,780

3. リース取引関係

(1) ファイナンス・リース取引

① 所有権移転外ファイナンスリース取引

リース資産の内容

資産計上したファイナンスリース取引はない。

管理部門におけるコンピュータ及びソフトウェアであり、少額であることからすべて賃貸借処理を行っている。

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
負担金						
あいちトリエンナーレ開催費負担金	愛知県及び名古屋市	0	682,788,211	682,788,211	0	
合 計		0	682,788,211	682,788,211	0	

5. その他

(1) 負担金収入について、名古屋市から令和2年3月27日付けで171,024,000円から137,222,000円とする減額の交付決定通知がなされたが、本実行委員会に手続き上の瑕疵はないため、差額の33,802,000円を未収金に計上している。

(2) (1)の未収金を回収する事務をはじめ、今後、「あいちトリエンナーレ2019」に関連する業務への対応費用として、10,152,000円を次期繰越金に計上している。

愛知県及び名古屋市の負担金及び繰越金について

○ 収 入 (負担金返還調整前)

(単位：千円)

区分	2019年度 当初予算額	決算額 (負担金返還調整前)	増減額 (対予算)
1 事業収入	196,000	271,057	75,057
2 負担金収入	823,246	A 771,780	▲ 51,466
愛知県負担金	652,222	600,755	▲ 51,467
名古屋市負担金(※)	171,024	171,024	0
3 広告・協賛金収入	69,000	93,916	24,916
4 諸収入	1	40	▲ 39
収入合計	1,088,247	1,136,793	48,468

※ 未収金33,802千円を含む。

財産目録「I 資産の部」「1. 流動資産」の未収金に計上

○ 支 出

1 事業費	1,069,765	1,033,756	▲ 36,009
2 管理費	4,256	3,893	▲ 363
3 予備費	14,226	0	▲ 14,226
支出合計	1,088,247	1,037,649	▲ 50,598

① 収入合計 (1,136,793千円) - 支出合計 (1,037,649千円) : 余剰金 99,144千円

② 繰越金 (今後の訴訟関連費用) 10,152千円

※ 実行委員会が名古屋市への負担金請求訴訟等で必要な経費を2019年度の余剰金から捻出
(訴訟費用 7,160千円、事務費 2,992千円)

財産目録「II 負債の部」「1. 流動負債」の未払金に計上

③ ①-② : 負担金返還額 (県及び市への未払金) 88,992千円

④ A-③ : 2019年度負担金決算額 682,788千円

収支計算書「1 事業活動収支の部」 負担金収入の決算額に計上

第3号議案

2020年度収支予算の補正について

2020年度収支予算を別紙のとおり補正するものとする。

2020年8月17日提出

あいちトリエンナーレ実行委員会

会長 大村秀章

(説明)

この案を提出するのは、2019決算に伴い繰越金が生じたこと等により、予算の補正を行うものであり、実行委員会規約第13条第2項第1号に基づき、運営会議において議決する必要があるからである。

2020年度収支補正予算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算 額			理 由
	既決額	補正額	補正後	
1 負担金収入	11,137	0	11,137	
2 諸収入	1	0	1	
3 繰越金	0	10,152	10,152	前年度繰越金の確定
収入の部 合計	11,138	10,152	21,290	

(補正内容)

2019年度決算に伴う繰越金の増額を行う。

(2) 支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算 額			理 由
	既決額	補正額	補正後	
1 事業費	9,357	7,160	16,517	
(1) 連携事業の実施	3,305	0	3,305	
(2) 事業事務費	6,052	7,160	13,212	弁護士費用等の増
2 管理費	1,781	876	2,657	実行委員会の運営に必要な経費の増
3 次期繰越金	0	2,116	2,116	次年度以降に訴訟業務が継続した場合の実行委員会の運営に必要な管理費の増
支出の部 合計	11,138	10,152	21,290	

(補正内容)

「あいちトリエンナーレ 2019」に関連する訴訟業務に必要な事業費の増額を行う。

第4号議案

あいちトリエンナーレ実行委員会の事業執行等について

新・国際芸術祭（仮称）組織委員会設立後のあいちトリエンナーレ実行委員会の事業執行等について、下記のとおりとする。

2020年8月17日提出

あいちトリエンナーレ実行委員会

会長 大村 秀章

記

- 1 あいちトリエンナーレ実行委員会規約第4条第1号に定める事業及び同条第2号に定める事業（アートラボあいちの運営に関するものに限る。）については、これを行わないものとする。
- 2 別紙一覧に定める資産は、新・国際芸術祭（仮称）組織委員会が設立された際には、同委員会に寄付するものとする。

（説明）

この案を提出するのは、これまで「あいちトリエンナーレ」として実施してきた国際芸術祭について、今後、2020年秋に設立が予定されている「新・国際芸術祭（仮称）組織委員会」が準備及び開催運営を行うことから、あいちトリエンナーレ実行委員会規約第13条第2項第3号に基づき、運営会議において議決する必要があるからである。

【参考1】あいちトリエンナーレ実行委員会規約（抜粋）

（事業）

第4条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- （1）トリエンナーレの準備及び開催運営
- （2）その他実行委員会の目的を達成するために必要な事業

区分	品名	数量	評価額
固定資産	事務局コンピュータネット配線	一式	212,261円
	愛知県大津橋分室エアコン	一式	78,622円
	愛知県大津橋分室2階内部造作	一式	64,800円
棚卸資産	あいち建築ガイド	100	84,000円
	あいちトリエンナーレ2013 公式カタログ	100	147,000円
	あいちトリエンナーレ2016 公式カタログ	300	601,800円
	あいちトリエンナーレ2016 コンセプトブック	100	143,500円
	あいちトリエンナーレ2016 公式ガイドブック	274	125,766円
	あいちトリエンナーレ2019 公式カタログ	199	490,336円
	あいちトリエンナーレ2019 ダイジェスト	1,858	784,076円
	あいちトリエンナーレ2019 開催報告書	562	352,374円
	あいちトリエンナーレ2019 モバイル・トリエンナーレ開催報告書	105	156,555円
	あいちトリエンナーレ2019 ラーニング記録集	469	417,879円
	アートラボあいち2017-2019報告書	48	74,784円

※ 寄付する数及び評価額は2020年8月17日現在のもの